

【各社の概要】

1. JR 西日本

- (1) 商号 西日本旅客鉄道株式会社
- (2) 所在地 大阪府大阪市北区芝田 2-4-24
- (3) 代表者 代表取締役社長 来島 達夫
- (4) 資本金 1,000 億円
- (5) 設立年月 1987 年 4 月
- (6) 主な事業内容 運輸業、流通業、不動産業、その他

2. ファームアライアンス

- (1) 商号 株式会社ファーム・アライアンス・マネジメント
- (2) 所在地 東京都千代田区九段南三丁目 4 番 5 号
- (3) 代表者 代表取締役 松本 武
- (4) 資本金 9375 万円
- (5) 設立年月 2012 年 3 月
- (6) 主な事業内容 農産物の国際認証グローバル GAP の認証取得支援コンサルティング、国際認証対応の生産情報管理システムのサービス供与、農産物の卸売等

3. 南都銀行

- (1) 商号 株式会社南都銀行
- (2) 所在地 奈良県奈良市橋本町 16 番地
- (3) 代表者 取締役頭取 橋本 隆史
- (4) 資本金 379 億 2,415 万円
- (5) 設立年月 1934 年 6 月
- (6) 主な事業内容 銀行業

※【農業の国際認証とは】

農業の国際認証は、世界の流通大手や食品加工で構成する食品安全の国際組織 GFSI (Global Food Safety Initiative) が承認した次の 4 つの規格が存在します。

- ・ グローバル GAP
- ・ SQF
- ・ Canada GAP
- ・ Primus GFS

これらの国際規格は、エリアや特性で若干の違いはありますが、食品衛生管理に用いられる HACCP 的衛生管理、品質マネジメントの ISO9001 的要素、食品への攻撃行為からのフードディフェンス、高度なトレーサビリティの確保、持続可能性などが盛り込まれています。世界的な流通上の取引条件の『約束事』として欧米だけでなく、中南米、アジア、アフリカで急速に普及が進んでいます。つまり、世界の流通が求めるサプライヤーとして「選ばれる」ための必須要件として求められています。

欧米では、販売する商品のリスクを最小化することが小売事業者の標準的な動きとなっています。特に、小売業売上高世界ランキングのトップ 10 にあるような量販店は、国際的な認証規格（グローバル GAP 等）を取得しているサプライヤーや生産者からの仕入を優先しており、自らの販売チャンネルにおいてリスク・ヘッジできない農産物の取り扱いを排除し始めています。

これらの国際認証取得については、国内農業の国際的競争力強化においては、もはや欠かす事のできない条件となってきており、日本政府は「攻めの農林水産業の展開と輸出力の強化」を掲げ、国際的に通用する国際認証を後押ししていく方針です。